



5・16 シンポジウム

G7サミット反対！
搾取も戦争もない
もうひとつの世界は可能だ

ANOTHER WORLD
IS POSSIBLE !

日時 2016年5月16日(月) 18:30~21:00

場所 アカデミー音羽 多目的ホール

■ ビデオメッセージ
搾取と戦争のG7サミット体制を批判する 小倉利丸さん

■ シンポジウム

- 地方も大変なんだよ、内山節の田舎話なんてくその役にもたたない
大野和興さん (農業記者)
 - 直接雇用、安定雇用、均等待遇を働き方の基本に！アベノミクスの雇用破壊を許さない！
遠藤一郎さん (全国一般全国協特別執行委員)
 - バルセロナから見た「地中海の危機」
海老原弘子さん (翻訳者)
 - パナマ文書とタックスヘイブン
金子文夫さん (横浜アクションリサーチ)
- ビデオメッセージ：attacイタリア、債務帳消委員会パキスタン
- 各地でG7問題に取り組む団体からの連帯メッセージ



主催 ATTAC Japan (首都圏)

賛同 G7茨城・つくばサミットを問う会
G7伊勢志摩サミットを問う集会実行委員会
G7サミット財務大臣・中央銀行総裁会合に異議あり！実行委員会
ATTAC東海



G7サミット財務大臣・中央銀行総裁会合に異議あり！

実行委員会からの連帯アピール

財務大臣・中央銀行総裁会合が開かれる仙台から、5月16日のシンポジウムに参加されているみなさんに、連帯のメッセージを送ります。

外務省の「G7サミットQ&A」では、地球規模の課題（経済、軍事・安全保障、教育・医療・福祉など）について「有効に対処する」ためには、7か国の首脳の「リーダーシップ」が必要で、そのなかでコンセンサスを形成し物事を決めるとしています。

各国国内の民主主義的な手続きや合意、国際的な国境を越えた民衆相互の討議も与えずに、トップダウンで意思決定しようというもので、私たちは、このような重要なことに対して7か国首脳にフリーハンドを与えることに賛同できません。「民衆の声も聴かずに勝手に決めるな！」と訴えたいと思います。

G7は、国際法や国際機関のような公式の機関ではなく、グローバル資本主義の危機に対応する利害調整の装置でしかありません。

仙台では、財務相・中央銀行総裁会議が5月20日～21日に開催されますが、テロ対策として「大規模警備」が敷かれる一方で、「2016年G7財務相・中央銀行総裁会議推進協力委員会」（仙台市長が会長）が設立され、官民一体で歓迎し、震災における支援の感謝と東北の魅力を世界に発信して「投資促進」など東北の更なる発展に繋げていくとしています。

会議の合間には、震災からの復興状況を見てもらおうと被災地視察も計画されているようですが、5年を経過しても遅々として進まない復興の現状を、更なる「惨事便乗型復興」として加速させるための宣伝に使うのでしょうか！

大企業や富裕層に有利な税制やパナマ文書にみられるような国際金融システムによって、被災地の復興と人々の生活再建に集中すべき財源はますます不安定になっていますし、不安定雇用と貧困の拡大は、社会不安の温床となっているのは明らかです。

G7が協調して作り出してきた不安定な資本主義のグローバル経済ではなく、搾取も抑圧もない社会を目指してともに行動していきましょう！

2016年5月16日